



Sustainable Community Center Japan

NPO
New Public Organization
欲しいものは自分達で創る

2012 年度 活動報告書

2012 年 1 月 1 日～2012 年 12 月 31 日

2013 年 2 月 14 日

特定非営利活動法人
日本サステイナブル・コミュニティ・センター
<http://www.sccj.com/>

目次

はじめに「2012年度の報告と今後の抱負」

I センター事業活動実績

1. ユビキタス地域健康・医療・福祉情報ネットワーク事業「どこカル. ネット」
 - 1-1. どこカル. ネットの活動概要
 - 1-2. どこカル. ネットのサービス概要
 - 1-3. どこカル. ネットの各種活動実績
 - 1-4. どこカル. ネット運営体制

2. 公衆無線インターネット事業「みあこネット方式」普及支援事業
 - 2-1. みあこネット方式普及支援事業の事業概要
 - 2-2. みあこネット方式普及支援事業の各種活動実績
 - 2-3. みあこネット方式普及支援事業の運営体制

3. 暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業「アグリライフ」
 - 3-1. アグリライフの活動概要
 - 3-2. アグリライフの各種活動実績
 - 3-3. アグリライフの運営体制

4. 研究会事業（産官民学の活発な人材交流）
 - 4-1. 京都研究会

5. 広報・マーケティング
 - 5-1. 各種メールリスト運営
 - 5-2. Web サイト運営

6. 会員について

II センター運営に関する活動

1. 総会開催
2. 2012年度 SCCJ 理事会開催日
3. 事務局体制
4. 理事、監事、顧問

はじめに「2012年度の報告と今後の抱負」

2012年度総会を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。私たち特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター(SCCJ)は、2012年度の活動を終えて会員の皆様にご報告をすることができることとなりました。リーマンショックを挟んで長く続く不況や、2011年3月11日の東日本大震災を経験する中で、iPS細胞によるノーベル賞受賞のニュースなど科学技術の進展ばかりではなく、政治、経済、社会のそれぞれの場面で、将来に向けての重要な一歩を進める準備となる1年であったかと思えます。

SCCJは2002年に法人化をして以来、10年がたち、いよいよ11年目に入ることになります。この間も、私たちSCCJは、着実に活動を進めることができたのではないかと感じておりますが、節目に当たるこの数年は、SCCJの活動にも成長と成熟が見られるようになったと感じております。それは、私たち市民活動組織が、さまざまな社会経済問題に、市民的な方法によって対処してきた成果だと考えることもできます。

2012年度の活動については、詳しくは報告書をご覧くださいと思いますが、年初においては、恒例の京都研究会で、大震災の経験を踏まえて安心安全な社会づくりを目指した市民の活動や意識の変化についての調査を行い報告をさせていただきました。この一年を通じて、「どこカル・ネット」事業は大きく進んできており、技術開発、実証実験から実践へと飛躍してきました。もちろん技術開発・技術革新は日常的に進めてきており、関連する地域共通診察券事業も大きく広がりを見せて、全国的にも注目されるようになってきました。

従来から進めてきた公衆無線インターネット事業である「みあこネット方式」普及支援事業は、成熟段階に達して標準化できた技術として維持管理段階に入っています。また、「暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業」としてはじめられた「アグリライフ」事業も、既に実験段階を脱して、実践として定着し、自立する段階に来ていると考えられます。

このように2012年度にも、私たちSCCJは活発な活動を進めることができました。これも会員各位のご尽力、ご協力の賜物と考えています。

その一方で、NPOとして持続可能な地域づくりを理想として活動してきましたので、そのための最適の活動をしているのかについては、常に反省をしていかなければなりません。またそのためには常に自己革新を果し続けていかなければならないとも思っています。そういう観点からは、新たな分野への挑戦も求められているといえましょう。情報通信技術や社会技術の革新を通じて、持続可能な地域社会を築いていくというSCCJのミッションは、もちろん現時点では実現できていない遠い目標ですが、それに向けて、新たな分野に挑戦し、革新的な社会実験とその社会的な実践と定着を着実に進めて行くことが必要だと考えています。

2013年は発展段階にある活動をさらに充実させるだけではなく、新たな活動に向かう志を高く持つ一年にしたいと思います。会員の皆様の一層のご助力を、従来にも増してお願いする次第です。

2013年2月吉日

特定非営利活動法人
日本サステナブル・コミュニティ・センター
代表理事 新川達郎

I センター事業活動実績

1. ユビキタス地域健康・医療・福祉情報ネットワーク事業「どこカル. ネット」

<http://www.dokokaru.net>

1-1. どこカル. ネットの活動概要

どこカル. ネットは、近年、少しずつ普及しはじめた医療機関毎の電子カルテシステムをインターネット上で安心・安全に相互利用するための仕組みをつくることで、いつでも、だれでも、どこでも、安心・安全で質の高い医療を受けることができるような(すなわち、どこでもカルテが見ることが出来るような)地域の情報化を住民の手で実現しようというプロジェクトとして、2004年5月に開始。

「どこカル. ネット」プロジェクト開始以前に、北岡顧問が支援してきた3二次医療圏を経て、現状、45二次医療圏の地域中核病院・団体に対して標準化型電子カルテの導入支援や情報化支援を行っている。

また、同プロジェクトに賛同する28社を会員に迎え、導入支援チームとして、会員数社から5名のボランティアスタッフにSEとしてご協力いただいている。

また、2008年10月より、個人の健康履歴(検診データ管理、紹介状管理、入退院サマリー)を、インターネットを介して携帯端末やPCを用い、個人主体で管理可能なサービス「ポケットカルテ」の本サービスを開始している。

1-2. どこカル. ネットのサービス概要

■特徴:いつでも、どこでも、だれでも、安心安全で質の高い医療を受ける事が出来る社会的な仕組み作り

- [1] いつでも:ASP型電子カルテをツールとして、「かかりつけ医(診療所)」と「病院」で24時間体制の連携を目指し、診療情報の共有(一地域一患者一電子カルテ)を行う。(注:ASP型電子カルテとは、インターネットエクスプローラーなど、ホームページ閲覧ソフトのみで利用可能な電子カルテのことである。)
- [2] どこでも=ユビキタス:「みあこネット方式普及支援事業」プロジェクトとの協業により、医療機関内だけでなく、患者=住民の自宅や外出先での急病で初診した医療機関、救急現場に居合わせた医療関係者に過去の診療情報を共有やその情報に基づく適切な医療が可能。
- [3] だれでも:ITコンソーシアム京都(京都府・京都市・京都商工会議所と有識者で構成)医療情報化部会との協業で進められている「共通診察券(無償)」を持つ事で、適切な医療を受けることが可能。
- [4] 安心安全:「みあこネット方式普及支援事業」の高度なセキュリティを持った公衆無線インターネット用アクセスマルータ(無線基地局)を利用。また、医療従事者や患者=住民の識別や認証には、「共通診察券」と「指静脈紋認証(生体認証のひとつ)」を組み合わせている為、世界最高レベルの環境を提供している。さらに、診療情報の共有により、薬アレルギーや現在内服中の薬との飲み合わせのチェック等がその場で可能。→医療過誤防止へ。
- [5] 質の高い健康・医療・福祉:共有されている診療情報の内、本人のご承諾が得られた情報については匿名化し、「その地域の住民特有の」健康・医療・福祉情報として統計解析し、「その地域の住民に最適な」健康・医療・福祉環境を探求する。また、解析結果を基に、一人一人の住民に最適な健康・医療・福祉をテーラーメイドで提供。

1-3. どこカル. ネットの各種活動実績

2012年度は以下の活動を実施した。

■ 「どこカル. ネット」事業会議

週1回、北岡顧問、中辻事業運営責任者及びスタッフ一同で定例会議を実施。2012年度においては計45回の会議を開催した。

■ 医療機関・学術団体向けの医療情報システム・医療関連システム導入・構築・更新に対するコンサルテーション

医療機関側に不足しがちなITスキルを補い、助言をし、医療機関と同じ立場で導入ベンダと交渉等を行う。また、

医療情報を適切に扱う体制作りや、問題解決に対する助言、支援を実施。2012 年度終了迄に定期的な支援を行った医療機関、団体は 45 病院、1 診療所グループ。

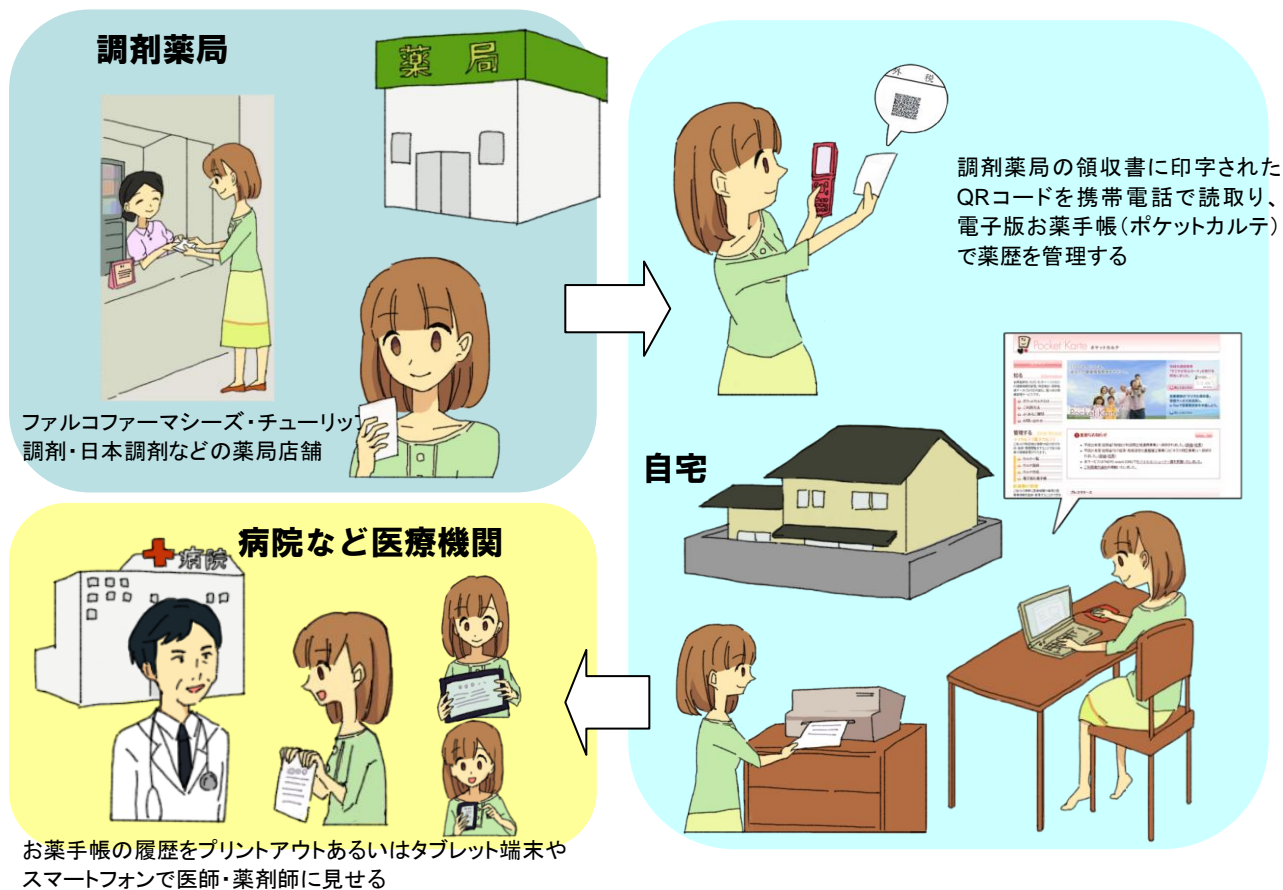
■ 「ポケットカルテ」～特定健診・保健指導データにも対応した個人向け健康情報管理サービス～の普及活動

2008 年秋からサービスの提供を開始した「ポケットカルテ※1」は、専用サイト「ポケットカルテ」に会員登録した上で健康情報を入力し、利用者は自宅のパソコンからネットを通じて閲覧・更新ができるほか、PHS やモバイル端末での閲覧が可能なもので、様々なメディアでも紹介され、正式サービス開始から 4 ヶ月間(2009 年 1 月末時点)で、10,000 ユーザーを突破した。

これまで対応していた PHS やモバイル端末に加え、普及が目覚ましいスマートフォンやタブレット端末にも対応し、より多くのユーザーが快適に利用できるようになり、現在(2012 年 12 月末時点) **25,000 ユーザー**を超えている。さらに、より多くの方が快適に利用できるよう、様々な端末への展開を促進している。

また、2011 年 11 月からサービスを開始した「ポケットカルテ」のサービス「**電子版お薬手帳**」は、調剤薬局で発行される領収書に印字された「**2 次元バーコード**」情報から処方情報及び医療費情報を取り込み、「**電子版お薬手帳**」における情報管理を可能にするサービスで、調剤薬局を運営する日本調剤株式会社と株式会社ファルコファーマシーズ及びチューリップ調剤株式会社の全店舗においてサービスを開始し、現在(2012 年 12 月末時点)総合メディカル株式会社などの店舗を加え、**全国 550 以上の薬局店舗**で利用できるようになった。

「電子版お薬手帳」サービスご利用イメージ図



さらに「電子版お薬手帳」に加え、医療現場や学会、自治体と連携し、「ポケットカルテ」に母子手帳、透析手帳、糖尿病手帳、がん診療連携手帳などの各種診療手帳機能の実装を行っている。

一人ひとりの日々の健康、医療、福祉履歴情報を電子化して一元管理し、簡単に情報を閲覧可能にすることで、自身の履歴情報を根拠とした質の高い医療サービスを受診できる社会の実現に向け、着実に進捗している。

■ 地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業

昨今の医療の高度化や患者ニーズの個別化・多様化により、医療機関への負担が増加しているにも関わらず、京都府では医療機関の減少が続いている。このため他の都道府県と同様に、地域医療格差・医師偏在、救急患者や妊婦のたらい回しなど、地域医療における課題が顕在化しつつある。

これらの課題を解決するため、当法人を代表とし、京都市・宇治市・城陽市・久御山町・奈良県生駒市の推薦を受け、平成22年度に引き続き、総務省「平成23年度地域ICT利活用広域連携事業」に「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」(以下、「地域共通診察券事業」とする)を提案し、2011年9月に採択された。

地域共通診察券事業は、上記「ポケットカルテ」を情報基盤とし、地域共通診察券発行・健康医療福祉履歴管理・医療圏リソース管理を統合的に提供することにより、地域医療に関わる医療資源(医療従事者・医療機器・設備)をひとつの仮想巨大医療機関とみなして有効活用し、質の高い安心・安全な地域医療提供体制を確立するための情報基盤整備を目的としている。

サービス概念図



総務省「平成23年度地域ICT利活用広域連携事業」の成果として、地域共通診察券「すこやか安心カード」が利用可能な医療機関が増え、対象地域(京都市・宇治市・城陽市・久御山町・奈良県生駒市)で86件(前年度プラス32件)となった。また、対象地域の自治体と連携し、広報活動を行うことにより、地域共通診察券「すこやか安心カード」の実利用者数は7,652名(前年度プラス6,807名)となった。

2012年3月で総務省「平成23年度地域ICT利活用広域連携事業」は終了したが、自立的に地域共通診察券事業を継続し、対象地域の拡大、広報活動などを行っている。2012年10月には京都府八幡市でのサービス提供を開始し、地域共通診察券「すこやか安心カード」の実利用者数が10,000名を超えた。京都府下で誕生した地域共通診察券「すこやか安心カード」は、全国の医療機関、自治体を主体として活用が検討されている。

さらに、医療機関、利用者の双方にとって、より安心・安全な医療環境の実現を目指すとともに、国家的な課題である医療費の削減や、予防医療・遠隔医療の促進、地域医療の再生など医療分野のICT化に関わる活動が評価され、当法人顧問北岡有喜博士が総務省近畿総合通信局より「情報通信月間」近畿総合通信局長表彰を受けた。

今後も「ポケットカルテ」「地域共通診察券「すこやか安心カード」」を通して、医療の情報化、地域住民の健康増進への貢献、電子行政サービスの普及を推進し、さらに利用者の統計データの活用により新しいサービスを創造することを目指していく。

※1 「ポケットカルテ」は当法人顧問である独立行政法人国立病院機構京都医療センター医療情報部長 北岡有喜博士が考案し、特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター(SCCJ)がサービスを提供している個人向け健康情報管理サービス(PHR:Personal Health Record)。



写真:近畿総合通信局長表彰式



写真:運営協議会での様子



写真:合同勉強での様子

■ 「どこカル. ネット」会員研修会

本プロジェクトの概要と現状、進捗状況等について情報共有すると共に、会員互いの連携・親睦を図る機会として2ヶ月に一度開催。2012年度においては6回の研修会を開催した。

＜研修会開催日＞

- ・ 2012年1月27日(金) 第44回どこカル. ネット企業会員研修会
- ・ 2012年3月23日(金) 第45回どこカル. ネット企業会員研修会
- ・ 2012年5月25日(金) 第46回どこカル. ネット企業会員研修会
- ・ 2012年8月3日(金) 第47回どこカル. ネット企業会員研修会
- ・ 2012年9月28日(金) 第48回どこカル. ネット企業会員研修会
- ・ 2012年11月30日(金) 第49回どこカル. ネット企業会員研修会



写真:会員研修会での様子

■ 「未来のお医者さん・看護師さん作文コンクール」の実施

将来の医療従事者の育成・発掘、また創造的な医療分野の開拓を目的とし、小学生を対象とした作文コンクールを実施。

第8回目の開催となる2012年度は、全国の小学生から作文が応募され、全国各地偏りなく400字詰めいっぱい書かれた力作が多く集まった。最優秀賞該当作品はなかったものの、未来の医療に対し多くの子供達が夢を抱いていることがどの作品からも読み取ることができ、開催の意義が感じられた。2013年度以降も継続して開催予定である。

■ 2012年の主なイベント一覧

- ・ 01月05日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月13日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月18日 久御山町役場「地域共通診察券(すこやか安心カード)」の発行ブースー設置2ヶ月半で利用者184人ーと題し、洛南タイムスに掲載
- ・ 01月19日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月23日 【ジャパン・クラウド・コンソーシアム】健康・医療クラウドWG サービスSWG参加
- ・ 01月25日 「地域共通診察券(すこやか安心カード)」ー久御山町役場1階にブース設置ーと題し、洛南タイムスに掲載
- ・ 01月26日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月26日 総務省 第17回(平成23年度第10回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会

- ・ 01月26日 総務省 平成23年度第9回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)合同勉強会
- ・ 01月27日 第44回どこカル. ネット企業会員研修会
- ・ 01月30日 生駒市医療費適正化専門部会に参加
- ・ 02月02日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月04日 宇治市主催「う～茶んフェスタ」に地域共通診察券(すこやか安心カード)の発行申込みブースを出展
- ・ 02月09日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月09日 神奈川県庁主催「神奈川県版マイカルテ」に関する職員向けの研修会が開催され、講師として参加
- ・ 02月16日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月23日 総務省 第18回(平成23年度第11回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 02月23日 総務省 平成23年度第10回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)合同勉強会
- ・ 02月23日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月24日 生駒市医療費適正化専門部会に参加
- ・ 02月29日 【ジャパン・クラウド・コンソーシアム】健康・医療クラウド サービス WG
- ・ 03月01日 ニッポン放送がラジオ番組「みんなの作文」にて「第7回未来のお医者さん・看護師さん作文コンクール」優秀賞受賞者の作文を紹介
- ・ 03月08日 ジャパン・クラウド・コンソーシアム主催「ジャパン・クラウド・シンポジウム2012～復旧・復興、成長に向けたクラウドの可能性～」で講演
- ・ 03月15日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03月17日 神奈川県と慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス主催「マイカルテ」シンポジウムで講演
- ・ 03月22日 総務省 第19回(平成23年度第12回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 03月22日 総務省 平成23年度第11回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)合同勉強会
- ・ 03月22日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03月23日 第45回どこカル. ネット企業会員研修会
- ・ 03月25日 「地域共通診察券(すこやか安心カード)」一発行・対応期間、近く拡大 医療情報など“安心”を1枚に集約―と題し、城南新報に掲載
- ・ 03月30日 株式会社インテージ主催「第1回ヘルスケアライフログ活用モデル研究会」で講演
- ・ 03月29日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月05日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月12日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月13日 生駒市医療費適正化専門部会に参加
- ・ 04月19日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月26日 総務省 第20回(平成24年度第1回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 04月26日 総務省 平成24年度第1回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」合同勉強会
- ・ 04月26日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05月07日 NHK 大津放送局が「おうみ発610」番組内コーナーで「ポケットカルテ」を紹介
- ・ 05月11日 生駒市医療費適正化専門部会に参加
- ・ 05月17日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05月20日 第2回全国若手政治家サミット実行委員会主催 全国若手市議会議員の会「第二回全国若手政治家サミット研修会」で講演
- ・ 05月24日 総務省 第21回(平成24年度第2回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 05月24日 総務省 平成24年度第2回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」合同勉強会
- ・ 05月24日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05月25日 第46回どこカル. ネット企業会員研修会
- ・ 05月31日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月01日 総務省 近畿総合通信局平成24年度「電波の日・情報通信月間」記念式典「近畿総合通信局長

表彰受賞式

- 06月01日 株式会社インテージ主催「第2回ヘルスケアライフログ活用モデル研究会」
- 06月07日 定例会「ポケットカルテ」地域共通診察券(すこやか安心カード)プロジェクト定例会
- 06月14日 定例会「ポケットカルテ」地域共通診察券(すこやか安心カード)プロジェクト定例会
- 06月15日～10月31日「第8回未来のお医者さん・看護師さん作文コンクール」実施
- 06月21日 総務省主催「医療ICTシンポジウム-医療ICTが創る地域の未来-」で講演
- 06月28日 総務省 第22回(平成24年度第3回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- 06月28日 総務省 平成24年度第3回「ポケットカルテ」地域共通診察券(すこやか安心カード)合同勉強会
- 06月28日 定例会「ポケットカルテ」地域共通診察券(すこやか安心カード)プロジェクト定例会
- 07月06日 ITコンソーシアム京都観光情報基盤検討部会主催「第2回情報化セミナー」にて地域共通診察券(すこやか安心カード)を無料発行
- 07月07日 久御山町 民生部長寿健康課主催「歯のひろば」にて地域共通診察券(すこやか安心カード)を無料発行
- 07月12日 定例会「ポケットカルテ」地域共通診察券(すこやか安心カード)プロジェクト定例会
- 07月17日 一般社団法人日本病院会/一般社団法人日本経営協会主催「国際モダンホスピタルシヨウ2012」開催。財団法人聖マリアンナ会(どこカル. ネット企業会員)ブースで「ポケットカルテ」を出展
- 07月19日 総務省「平成23年度版 地域ICT利活用事例集」に地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」の取組みが掲載
- 07月19日 【ジャパン・クラウド・コンソーシアム】第4回定時総会に参加
- 07月19日 定例会「ポケットカルテ」地域共通診察券(すこやか安心カード)プロジェクト定例会
- 07月23日 「地域共通診察券(すこやか安心カード)」安心で好評-京などで広がり-と題し、京都新聞に掲載
- 07月26日 総務省 第23回(平成24年度第4回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- 07月26日 総務省 平成24年度第4回「ポケットカルテ」地域共通診察券(すこやか安心カード)合同勉強会
- 07月26日 定例会「ポケットカルテ」地域共通診察券(すこやか安心カード)プロジェクト定例会
- 07月27日 株式会社インテージ主催「第3回ヘルスケアライフログ活用モデル研究会」
- 07月30日 京都リサーチパーク主催「KRP-WEEK2012」にて地域共通診察券(すこやか安心カード)を無料発行
- 08月01日 財団法人京都高度技術研究所、京都リサーチパーク株式会社、ITコンソーシアム京都主催「京都クラウドコレクション2012」にて地域共通診察券(すこやか安心カード)を無料発行
- 08月03日 第47回どこカル. ネット企業会員研修会
- 08月05日 一般社団法人日本医療情報学会 看護部会主催「第13回日本医療情報学会看護学術大会ワークショップ9」で講演
- 08月09日 定例会「ポケットカルテ」地域共通診察券(すこやか安心カード)プロジェクト定例会
- 08月23日 定例会「ポケットカルテ」地域共通診察券(すこやか安心カード)プロジェクト定例会
- 08月30日 総務省 第24回(平成24年度第5回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- 08月30日 総務省 平成24年度第5回「ポケットカルテ」地域共通診察券(すこやか安心カード)合同勉強会
- 08月30日 定例会「ポケットカルテ」地域共通診察券(すこやか安心カード)プロジェクト定例会
- 08月31日 共通ID・ICカードに関する第1回分科会に参加
- 09月01日 市民すこやかフェア実行委員会「第21回市民すこやかフェア2012」にて地域共通診察券(すこやか安心カード)を無料発行
- 09月02日 市民すこやかフェア実行委員会「第21回市民すこやかフェア2012」にて地域共通診察券(すこやか安心カード)を無料発行
- 09月06日 定例会「ポケットカルテ」地域共通診察券(すこやか安心カード)プロジェクト定例会
- 09月13日 定例会「ポケットカルテ」地域共通診察券(すこやか安心カード)プロジェクト定例会
- 09月20日 定例会「ポケットカルテ」地域共通診察券(すこやか安心カード)プロジェクト定例会
- 09月22日 社団法人全日本病院協会主催「第54回全日本病院学会 in 神奈川 地域医療の最前線～みなとみらいから未来へ～」シンポジウム「「かながわマイカルテ」プロジェクト」のパネリストとして登壇
- 09月27日 総務省 第25回(平成24年度第6回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会

- ・ 09月27日 総務省 平成24年度第6回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」合同勉強会
- ・ 09月27日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月28日 第48回どこカル ネット企業会員研修会
- ・ 10月04日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 10月18日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 10月21日 宇治市主催「う～茶んフェスタ」に地域共通診察券(すこやか安心カード)の発行申込みブースを出展
- ・ 10月25日 総務省 第26回(平成24年度第7回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 10月25日 総務省 平成24年度第7回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」合同勉強会
- ・ 10月25日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月01日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月02日 【ジャパン・クラウド・コンソーシアム】第3回ミドルウェア／インフラSWG(健康・医療クラウドWG)
- ・ 11月07日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月09日 株式会社インテージ主催「第4回ヘルスケアライフログ活用モデル研究会」
- ・ 11月12日 生駒の地域医療を育てる会が「地域共通診察券(すこやか安心カード)」発行医療機関をご見学
- ・ 11月15日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月16日 生駒市医療費適正化専門部会に参加
- ・ 11月17日 公益社団法人全国老人保健施設協会関東甲信越支部長会主催勉強会で講演
- ・ 11月22日 総務省 第27回(平成24年度第8回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 11月22日 総務省 平成24年度第8回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」合同勉強会
- ・ 11月22日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月26日 共通ID・ICカードに関する第2回分科会に参加
- ・ 11月29日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月29日 公益財団法人ひょうご産業活性化センター主催 平成24年度 第3回「兵庫産業研究会(旧兵庫ものづくり研究会)」で講演
- ・ 12月06日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 12月13日 【ジャパン・クラウド・コンソーシアム】ミドルウェア／インフラSWG参加
- ・ 12月17日 【ジャパン・クラウド・コンソーシアム】全体WG参加
- ・ 12月20日 総務省 第27回(平成24年度第8回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 12月20日 総務省 平成24年度第8回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」合同勉強会
- ・ 12月20日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会

また、2013年1月に「第8回未来のお医者さん・看護師さん作文コンクール」の最優秀賞授与式を開催予定。

1-4. どこカル ネット運営体制

■ 運営体制 <http://www.dokokaru.net/modules/tinyd0/index.php?id=7>

【責任者体制】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
事業運営責任者	中辻 善行	NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター
総括技術責任者	事業統括責任者兼務	
技術運用責任者 (情報通信技術担当)	小森 由宗	NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター
財務責任者	事業統括責任者兼務	

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	京都医療センター 医療情報部長／国立病院機構 情報化統括責任者(CIO)補佐官

國領 二郎	慶應義塾大学総合政策学部長／教授
堀部 政男	一橋大学名誉教授

【企業/企業会員】

種別	企業名	企業名
企業会員	アイテック阪急阪神株式会社	JBCC 株式会社
	株式会社アピウス	株式会社ソフトウェア・サービス
	アライドテレシス株式会社	デイスター・テクノロジーズ株式会社
	株式会社医用工学研究所	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
	株式会社インスパイア	日本調剤株式会社
	株式会社インテージ	株式会社日立ソリューションズ
	株式会社オー・エム・シー	株式会社ファルコバイオシステムズ
	京都電測株式会社	株式会社フェイス
	KDDI株式会社	株式会社ミライテクノ
	財団法人聖マリアンナ会	メディカル・データ・ビジョン株式会社
	サクサ株式会社	株式会社リコー

他 6 社、計 28 社 (50 音順、2012 年 12 月末現在)

2. 公衆無線インターネット事業「みあこネット方式」普及支援事業

<http://www.miako.net/>

2-1. みあこネット方式普及支援事業の事業概要

みあこネットとは、市民の手で自分の住んでいる地域を情報化しようというプロジェクトで、当法人の呼びかけにより 2002 年 5 月から広がり、市民有志の負担でアクセスポイントを設置・運用する活動である。

企業内、家庭内におけるネットワークへ、安心・安全に基地局を運営し、また利用者にとっても簡単に公衆でインターネット接続を利用できる方法として、VPN を利用した「みあこネット方式」を提唱し、同方式の普及支援活動を実施している。

プロジェクト開始から 2005 年 3 月末までの 3 年間は、SCCJ を運営母体とする実証実験を実施。2005 年 4 月～2008 年 3 月末は、京都の地域プロバイダ「京都アイネット」での商用運用の採用があり、地域内情報バリアフリーの一役を担った。同社は 2008 年 3 月をもって、「みあこネット方式」を用いた商用運用を終了している。

2008 年 4 月からは、「みあこネット方式」に準拠したサーバをパッケージ化し、京都大学や京都医療センター独自の運用として自律分散的に運用されている。

2-2. みあこネット方式普及支援事業の各種活動実績

前年度までに引き続き「みあこネット方式」の普及支援を行った。

- ・ 京都大学において展開されている「みあこネット方式」の基地局数が 900 を超え、さらに増設中である。
- ・ IPv6 を前提とした新世代の「みあこネット方式」として、京都大学岡部研究室では、Host Identity Protocol を利用した研究開発を行っている。

(国際会議発表論文)

Akihiro Takahashi, Tomotaka Maeda, Yasuo Okabe, Design and Implementation of a Secure Public Wireless Internet Service Model Using Host Identity Protocol, The 12th IEEE/IPSJ International Symposium on Applications and the Internet (SAINT2012), pp.19-28, July 2012.

- ・ みあこネット実証実験の第一期で用いられていた MIS プロトコルが、モバイルブロードバンド協会標準 0201 号 (2004 年 4 月公開)を経て、現在 IEEE802.11ai(First Initial Authentication)の標準化作業中である。京都大学岡部研究室では、同方式の標準化を推進している WiFILS 推進協議会の実証実験に協力している。

2-3. みあこネット方式普及支援事業の運営体制

■ 運営体制 <http://www.miako.net/about/organization.shtml>

【みあこネット責任者】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	岡部 寿男	京都大学学術情報メディアセンターネットワーク研究部門教授
総括技術責任者	古村 隆明	京都大学学術情報メディアセンター産学官連携准教授

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	京都医療センター 医療情報部長／国立病院機構 情報化統括責任者(CIO)補佐官
國領 二郎	慶應義塾大学総合政策学部長／教授
辻 正次	兵庫県大学大学院応用情報科学研究科教授

3. 暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業「アグリライフ」

<http://www.agri-life.net/>

3-1. アグリライフの活動概要

ICT を活かした安心・安全な食と農のある暮らしの根ざす地域社会作り、都市と農村の持続可能な交流と産業モデル作りを行う。なお、アグリライフは 2005 年より実施している「こちネット」の掲げる理念「障害の有無や、性別、年齢にかかわらず自律性、自発性、創造力を発揮できる安心・安全な社会モデル作り」はそのまま踏襲し、2009 年 6 月 1 日付けで発展的改称した事業である。アグリライフの事業は、上記理念を掲げる事業を行う主催事業と、他団体・企業に対する企画立案、各種支援事業に分けられる。アグリライフは、2011 年 1 月末をもってすべての事業を終了し、現在は新たなプロジェクトを休止している。

3-2. アグリライフの各種活動実績

本年度の活動実績なし。

3-3. アグリライフ運営体制

■ 運営体制

【責任者体制】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	隅岡 敦史	NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター 理事

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	京都医療センター 医療情報部長／国立病院機構 情報化統括責任者(CIO)補佐官

4. 研究会事業（産官民学の活発な人材交流）

4-1. 京都研究会

毎年恒例となっている研究会事業の京都研究会について、2011-2012 年度は 2012 年 1 月 27 日(金)に開催した。2012-2013 年度については 2013 年 1 月 25 日(金)に開催を予定している。内容は以下の通り。

■ 第 13 回京都研究会 2011-2012

<http://www.sccj.com/kk/2011-2012/>

「ICT による安心・安全な社会づくり最前線～大災害に耐えるまちづくり～」

【内容】

12:00～ 受付開始

- 13:00～13:15 開会の挨拶:新川 達郎(同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/
NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター代表理事)
- 13:15～14:00 「マイナンバー制度と番号カード」
堀部 政男(一橋大学名誉教授)
- 14:00～14:45 「クラウド時代の ICT 政策の最新動向」
谷脇 康彦(総務省大臣官房企画課長)
- 14:45～15:30 「パーソナルヘルスレコード(PHR)システムの現状と将来」
竹上 嗣郎(東北大学 未来科学技術共同研究センター副センター長(教授))
- 15:30～15:45 休憩
- 15:45～16:00 どこカル. ネット 『第 7 回未来のお医者さん・看護師さん作文コンクール』最優秀賞表彰式
- 16:00～17:25 【総合討論会】『SCCJ 10年を振り返る』
コーディネータ:新川 達郎(同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター代表理事)・國領 二郎(慶応大学環境情報学部長 教授/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター顧問)
パネリスト:竹原 司(インフォグリーン株式会社代表取締役/株式会社デザイン・クリエイション 最高顧問/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター副代表理事)・北岡 有喜(独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 医療情報部長/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター顧問)・隅岡 敦史(NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター理事)・岡部 寿男(京都大学学術情報メディアセンターネットワーク研究部門教授/みあこネット事業統括責任者)・谷田 吉貞(愛きもの代表)
- 17:30～ 閉会の挨拶:竹原 司(インフォグリーン株式会社代表取締役/株式会社デザイン・クリエイション 最高顧問/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター副代表理事)

第 2 部 分科会(懇親会):閉会后～19:30

【会場】ルヴェ ソン ヴェール岡崎

住所:京都市左京区粟田口鳥居町 2-1 京都市国際交流会館内

電話:075-762-1777

【参加費】有料

- ・研究会(13:00～17:30)のみの参加

一般:1,000 円

SCCJ 会員(みあこ・どこカル. ネット・アグリライフ企業・団体会員/個人・学生・ベテラン会員)および地方公共団体職員の方:無料

- ・研究会、懇親会(閉会后～19:30)すべて参加

一般:5,000 円

SCCJ 会員(みあこ・どこカル. ネット・アグリライフ企業・団体会員/個人・学生・ベテラン会員)および地方公共団体職員の方:4,000 円

【運営体制】

主催:特定非営利活動法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター

後援:京都府、京都市、京都新聞社、IT コンソーシアム京都

【定員】220 名

■ 第 14 回京都研究会 2012-2013

<http://www.sccj.com/kk/2012-2013/>

「医療 ICT がひらく未来の地域」

【内容】

12:00～ 受付開始

13:00～13:15 開会の挨拶:新川 達郎(同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/
NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター代表理事)

13:15～13:40 「持続可能な農業」

隅岡 敦史(NPO 法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター理事)

13:40～14:05 「再生可能エネルギーによる地域の再活性化」

竹原 司(インフォグリーン株式会社代表取締役代表取締役/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター副代表理事)

- 14:10～14:30 どこカル. ネット 『第8回未来のお医者さん・看護師さん作文コンクール』最優秀賞表彰式
- 14:30～14:45 休憩
- 14:45～ 「京都から普及し始めた『ポケットカルテ』最新情報」
 「『ポケットカルテ』の現状と今後の展開について」
 講演:北岡 有喜(独立行政法人国立病院機構 京都医療センター医療情報部長/
 NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター顧問)
 「『ポケットカルテ』の臨床応用～CKD 患者管理と透析手帳について～」
 講演:塚本 達雄 氏(京都大学医学部付属病院腎臓内科准教授)
 「EHR から PHR へのシフトについて」
 講演:竹上 嗣郎 氏(東北大学未来科学技術共同研究センター副センター長(教授))
 「神奈川マイカルテについて」
 講演:赤尾 保志 氏(財団法人聖マリアンナ会理事長)
- 16:15～17:00 【総合討論会】『医療 ICTがひらく未来の地域』
 コーディネータ:新川 達郎(同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事)
 パネリスト:北岡 有喜(独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 医療情報部長/NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター顧問)・塚本 達雄 氏(京都大学医学部付属病院腎臓内科准教授)・竹上 嗣郎 氏(東北大学未来科学技術共同研究センター副センター長(教授))・赤尾 保志 氏(財団法人聖マリアンナ会理事長)
- 17:00～ 閉会の挨拶:竹原 司 (インフォグリーン株式会社代表取締役代表取締役/
 NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター副代表理事)

第2部 分科会(懇親会):閉会后～19:00

【会場】ルヴェ ソン ヴェール岡崎

住所:京都市左京区粟田口烏居町 2-1 京都市国際交流会館内

電話:075-762-1777

【参加費】有料

・研究会(13:00～17:00)のみの参加

一般:1,000 円

SCCJ 会員(みあこ・どこカル. ネット・アグリライフ企業・団体会員/個人・学生・ベテラン会員)および地方公共団体職員の方:無料

・研究会、懇親会(閉会后～19:00)すべて参加

一般:5,000 円

SCCJ 会員(みあこ・どこカル. ネット・アグリライフ企業・団体会員/個人・学生・ベテラン会員)および地方公共団体職員の方:4,000 円

【運営体制】

主催:特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター

後援:京都府、京都市、京都新聞社、IT コンソーシアム京都

【定員】220 名

5. 広報・マーケティング

Web サイト、プレスリリース、各種メールリストでの広報・マーケティングを行った。

5-1. 各種メールリスト運営 (Yahoo! eGroups 利用)

SCCJ 関連で、テーマ、目的別のメールリストが 10 数本あり、ネット上で協働作業や情報交換を行っている。その中でも一般情報交換用メールリスト「aibousan」は、誰でも入れる双方向型のメールリストで、設立当初の 1999 年の 190 名から、2012 年 12 月末に登録者は 721 名となった。

5-2. Web サイト運営

2012 年現在運営しているサイトは以下の通り。

- ・SCCJ <http://www.sccj.com/>
- ・「みあこネット」方式普及支援事業 <http://www.miako.net/>
- ・どこカル. ネット <http://www.dokokaru.net>

・ポケットカルテ
・アグリライフ

<http://pocketkarte.net/>
<http://www.agri-life.net/>

6. 会員について (2012年12月末現在)

<SCCJ 正会員>

会員種別	継続	新規	計
一般	21	14	35
学生	0	0	0
合計	21	14	35

<どこカル. ネット企業・団体会員>28社
詳細は「どこカル. ネット」項目を参照のこと。

II センター運営に関する活動

1. 総会

特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター 総会

日時: 2012年1月27日(金) 11:00-12:00

会場: 京都市国際交流会館 第一会議室

2011年度活動報告・収支報告、理事の改選、2012年度事業について了承された。

2. 2012年度度 SCCJ 理事会開催日

下記の日程に於いて、理事、事務局スタッフによる定期理事会を開催した。

- ・ 2012年1月27日
- ・ 2012年2月23日
- ・ 2012年3月22日
- ・ 2012年4月26日
- ・ 2012年5月24日
- ・ 2012年6月28日
- ・ 2012年7月26日
- ・ 2012年8月30日
- ・ 2012年9月27日
- ・ 2012年10月25日
- ・ 2012年11月19日
- ・ 2012年12月20日

3. 事務局体制 (2012年12月末現在)

(1)職員

常勤:3名

プロジェクト・コーディネータ:小川麻理

どこカル. ネット事業運営責任者:中辻善行

どこカル. ネット事務局スタッフ:横田健吾

どこカル. ネットボランティア:25名

4. 理事、監事、顧問 (2012年12月末現在)

(50音順)

代表理事	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
理事	竹原 司 (副代表理事)	ナレッジオートメーション株式会社代表取締役／株式会社デザイン・クリエイション最高顧問／社団法人コンピュータソフトウェア協会理事・名誉会員
	平澤 創	株式会社フェイス代表取締役社長

	隅岡 敦史	静原ミレットファーム
監事	土井 充	公認会計士 土井充事務所
顧問	跡田 直澄	嘉悦大学副学長・経営経済学部教授
	北岡 有喜	京都医療センター 医療情報部長／国立病院機構 情報化統括責任者(CIO) 補佐官
	國領 二郎	慶應義塾大学総合政策学部長/教授
	辻 正次	兵庫県大学大学院応用情報科学研究科教授
	堀部 政男	一橋大学名誉教授
	町田 洋次	元社団法人ソフト化経済センター理事長
	三木 秀夫	弁護士・大阪 NPO センター理事
	山内 直人	大阪大学大学院国際公共政策研究科教授

以上